

平成 29 年事業計画

■基本理念

- 「施設の主人公は利用者である」を基本にして、健康かつ安全で快適な生活を確保するとともに、利用者一人ひとりの人格を尊重し、人間性あふれる豊かな心を育む。
- 年齢及び心身の状況に応じた適切な援助を行い、各人の能力や個性をのばし、社会生活の営みに必要な自立を促す
- 地域や関係機関団体との緊密な連携を進め、施設における事業の充実および地域福祉の進展に寄与する

社会福祉を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。特に平成 29 年度は社会福祉法人改革が具体的に実施され、光風会でも理事会、評議員会を刷新し、新たな役員体制で運営していきます。ご協力とご理解をお願いいたします。

昨年、7月の津久井やまゆり園事件以降、障害関連事業所の安心・安全の強化と地域社会での事業所の在り方が問われています。地域社会との共存を目指してきた私たちの考え方とは逆の論調も見られるなか、それでも地域社会に溶け込む努力をしていきます。また、福祉サービスの質も問われ、生活介護事業の在り方や強度行動障害者への支援、障害者権利条約批准後の障害者に対しての人権や権利擁護も考え、利用者の声なき声にも耳を傾けながら職員の支援の在り方を考えていきます。

児童福祉法改正に伴う、児童施設の対応も大詰めを迎え、18歳超過児童の住まいの場の確保に向け努力していきます。

65歳問題に端を発する地域生活者の介護保険法適用問題や、高齢障害者の看取りを含めた医療対応など、障害者を取り巻く問題は山積している中で行政と連携し障害者の生活しやすい支援体系を構築して行きます。

これらを支援する人材の確保や人材育成はさらに厳しさを増している中、職員の働く場所についても環境を整えていきます。とりわけ職員のメンタルヘルスに関しては国の施策に則った対応をしていきます。

平成 29 年度の運営方針は変わりゆく障害施策の中で「一人一人にあった支援を考える」を掲げ利用者に寄り添った法人運営を目指します。

【重点目標】

1、利用者の安全・安心

平成28年7月の津久井やまゆり事件は記憶から消え去ることのない悲惨な事件でした。再度このような悲惨なことがないように利用者が安全で安心して暮らせるように努力します。

2、利用者の意思を尊重した個別支援計画の作成

計画相談が本格実施される中、地域での取り組みにばらつきがみられ、障害者の意向が反映されているとは言い難い、基幹相談センターを中心にどのように障害者の生活を支えていくのか考える。

3、児童福祉法改正に伴う平成30年問題

横浜市内の障害児施設で、18歳超過児童は約40名を超えている。明確な政策が示されない中で、障害児施設はもちろんのこと地域で生活される障害児にも大きな不安が残る、特に強度行動障害を伴う障害児はどうすればいいのか、行政を巻き込んだ取り組みをしていく。障害児の住まいの場を考える。

4、生活介護と日中活動

総合支援法3年目の見直しで、日中支援の在り方が問われている。生活介護事業で障害者が生き生きと生活できるような場の提供を目指す。

5、行動障害者や高齢障害者の生活を支える

平成30年以降、強度行動障害者の支援が本格的に始まり、支援の専門性も担保されます。また、重度高齢化に伴い、高齢障害者の介護及び看取りを含めた支援、65歳問題などを考えた施策。

6、人材確保・育成

社会福祉改革が4月から実施され新たな制度のもと、運営をしていく。社会福祉事業を支えるのは人ということを忘れずに、定着率の高い職場を目指す。メンタルヘルス対策の実施。

7、障害者雇用の推進

障害者を支援している法人として、働く場面に応じて障害者の雇用を推進していく。障害者雇用率2%以上の達成。

法人名 社会福祉法人光風会

資 金 収 支 予 算 書
(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

(単位:千円)

勘 定 科 目		前年度予算額	当初予算額	増 減
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	167,718	167,710	-8
	障害福祉サービス等事業収入	676,824	684,978	8,154
	経常経費寄附金収入	0	0	0
	受取利息配当金収入	680	300	-380
	その他の収入	8,851	7,766	-1,085
	事業活動収入計(1)	854,073	860,754	6,681
	支出			
	人件費支出	565,611	601,595	35,984
	事業費支出	131,792	134,607	2,815
事務費支出	46,378	44,653	-1,725	
その他の支出	4,737	4,767	30	
事業活動支出計(2)	748,518	785,622	37,104	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	105,555	75,132	-30,423	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	11,608	14,700	3,092
	施設整備等収入計(4)	11,608	14,700	3,092
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	2,400	2,400	0
	固定資産取得支出	31,466	40,980	9,514
その他の施設整備等による支出	2,592	2,100	-492	
施設整備等支出計(5)	36,458	45,480	9,022	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-24,850	-30,780	-5,930	
その他の活動による収支	収入			
	拠点区分間繰入金収入	101,000	70,000	-31,000
	その他の活動による収入計(7)	101,000	70,000	-31,000
	支出			
	積立資産支出	80,000	38,000	-42,000
	拠点区分間繰入金支出	101,000	70,000	-31,000
その他の活動支出計(8)	181,000	108,000	-73,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-80,000	-38,000	42,000	
予備費支出(10)	0	6,000	6,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	705	352	-353	
前期末支払資金残高(12)	246,299	249,781	3,482	
当期末支払資金残高(11)+(12)	247,004	250,133	3,129	